

～海鳴り遙かに～

# 上高だより

令和3年11月26日 金曜日  
第7号

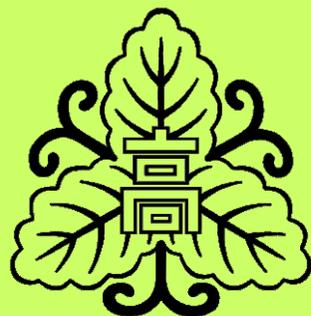


長崎県立上五島高等学校  
NAGASAKI PREFECTURAL KAMIGOTO HIGH SCHOOL



## 七重の柏 上高威信

上高は今年度創立70周年を迎えました



### 創立70周年



校長 古賀 巖

11月6日(土)に上五島高校創立70周年記念式典が行われました。式典の中で上高の歴史については触れましたが、再度皆さんに創立当時のことを話しておきたいと思います。

長崎県立上五島高等学校は1952年、昭和27年4月に離島における4番目の高等学校として開校いたしました。戦後の復興が始まった中、「みやこへ出ていく高校生」として、高校進学のために島外へ子供たちが出ていくことが問題になっていました。そこで島内に「高校の新設」という機運が高まり、当時の上五島、ハケ町村の方が力を合わせて動いていただき、場所の問題、資金の問題等々課題が山積するなか、多くの島民の方々のご協力・ご尽力そして何より「上五島の地に高校を」という熱く、強い思いによってこの上五島高校は開校しました。開校時は校舎やグラウンドも無い中、11中学、1分校から131名の入学者があり、魚目中学校の教室を間借りして最初の入学式が行われています。そして現在の魚目・西ノ股地区の方々から美田を提供していただき、翌年、新校舎を建設し移転することになります。しかしその建設にも多くの方々のご協力と、何より当時の在校生が、瓦を運び、つるはしを持ってグラウンドを整備したそうです。何もない中、先輩方が持たれていたのは、「学問に対する情熱」と「自らの手で学校を作る」という強い思いだったことがうかがえます。

それから70年。長い時間とともに多くの歴史を刻んできました。昭和48年に中五島高校の独立、52年には1200名を超える生徒数、54年に生徒会誌「柏葉」の創刊、平成では8年に芸術棟「輝洋館」の新築、14年には「海鳴り遙かに」作成、21年に大学入試センター試験離島実施、28年に寄宿舎「潮寮」休寮、などなど。またその間にも数々の部活動の活躍がありましたし、大学進学、就職、資格試験など、18000名を超える先輩方が、「進取」の気象を胸に、皆さんと同じこの上五島高校で青春を謳歌されています。

もう一度、この上五島の地、そして母校上五島高校に誇りが持てるよう、その歴史を、その思いを知って、これからに生かしてほしいと思います。

#### 1学年より

早いもので、2学期もあと1か月となりました。先日普通科の生徒たちは、4月から進取の時間に取り組んできた「ソーシャル・チェンジ」の最終発表会を行いました。班のメンバーで協力して、初めてのポスターセッションに取り組み、3年生や来賓の皆様の前で発表しました。一つのことを自分たちで作る大変さと、そこから得られる達成感を体験し、生徒たちはまた一回り成長したようです。電情科の生徒たちは今月、また一つ資格試験を終えました。目標を持って取り組む姿に頼もしさを感じます。2学期の締めくくりとなる12月も、生徒一人ひとりがそれぞれの志を持って充実した毎日を送ってもらいたいと思います。12月2日から期末考査が始まります。まずは目の前のことに全力投球しましょう。急に寒くなってきたので、体調管理にも十分注意してください。

#### 2学年より

11月も下旬になり、世間では2021年も残すところあと1月ほどとなりました。しかし、皆さんの2021年はまだまだ終わりません。12月には大きな行事がまだ2つも待ち構えています。

1つ目は、2学期期末考査です。すでに考査期間に突入していますし、家庭学習時間も普段より充実しつつある時期だとは思いますが、今回の考査は1、2学期の学習の成果を発揮する良い機会です。試験日程の4日間を見据えて、学習計画を立て、学習の「量」と「質」を両立させながら準備を進めていきましょう。

2つ目は、なんといっても皆さんお待ちかねの修学旅行です。今年の修学旅行は九州南部方面への旅行を計画しています。すでに何度か進取やLHRの時間を使って、事前学習を行っているところですが、修学旅行はただ楽しむだけが目的ではありません。旅行の前後で、身も心も大きく成長したなと思えるよう、残りの時間をしっかり準備していきましょう。

#### 3学年より

秋も深まり、冬の足音が近づいてまいりました。中庭の木々も色づき、散りつつある状況です。紅葉する葉の代名詞と言えば「モミジ」を思い浮かべるかと思いますが、植物学上の分類としては、カエデ科カエデ属なのだとか。中庭にもあるモミジの木もカエデということになるわけですから、なんだか混乱してしまいますね。調べれば何でも分かる世の中ですが、知ろうとすることが「学ぶ」ことの原点なのだなどと改めて感じました。68回生の皆さんも、進路が決まっているか否かにかかわらず、自らをアップデートすることを意識して日々の学びに取り組んでください。

## 創立70周年記念式典



記念講演はオンラインでの実施



石田町長様からのご祝辞



生徒会長櫻山君の挨拶



愛唱歌「海鳴り遙かに」合唱

11月6日(土)に、創立70周年記念の講演会と式典が本校体育館で行われました。本来であれば、日ごろ上五島高校を応援いただいている地域の方々や卒業生の方々などをお招きしたかったのですが、新型コロナウイルス感染症対策として、規模を縮小しての開催といたしました。

まず、記念講演では、講師としてメディアでも活躍しておられる鎮西学院学院長の姜尚中先生から『先の見えない時代をどう生きるか』という演題でオンライン中継による講演を行っていただきました。「島(上五島)の未来は、日本の未来を表していると考えられる」や「多感な高校生時代に、自分にとって大切な『本(古典)』を作ってほしい」などのメッセージを、とてもわかりやすく話していただきました。また、人間だけが「悩み」をもつことができ、その「悩み」は、当然としてもって良いという言葉に、生徒たちは安堵感を得られたことと思います。姜尚中先生へのお礼の言葉として、3年生の山下颯優さんは「憧れをもち、前に進むことの重要性を学びました。これから社会に出ますが、憧れ・目標をもって人々の役に立てるよう頑張ります。」と抱負を述べました。

次に、記念式典では、校長式辞、石田信明新上五島町長からの祝辞や今村英文同窓会長の挨拶の後、櫻山祥吾生徒会長が挨拶をしました。その挨拶の中で「70周年の歴史を引継ぎつつ、コロナ禍である今だからこそ、校訓「進取」の気象で乗り越えましょう。」と決意を述べました。

9月の記念体育祭と10月の記念橄欖祭(文化祭)でも、コロナ禍での行事ということで入場制限を施しながらの開催でした。そんな中でも地域の方々からの温かい応援の言葉を多数いただき、ありがとうございました。これからも、80年90年100年と続く上五島高校をどうぞよろしく願いいたします。

## 防災避難訓練

10月28日(木)教室からの漏電火災を想定した防災避難訓練を実施しました。

生徒たちは緊急放送および引率教員の指示にしっかりと耳を傾け、緊張感を持って迅速に避難していました。避難後は消防署の方から避難訓練の講評と講話をしていただき、防災意識の向上を図ることができました。

その後は、上高生、分教室、教職員から有志を募り、消火器を用いた消火訓練を実施しました。



## 薬物乱用防止教室

11月11日(木)に、県警スクールサポーターの城谷浩様を講師としてお招きし、薬物乱用防止教室を開催しました。

薬物には様々な隠語や別称があること、薬物乱用の恐ろしさ、薬物の密売価格、アメリカの州の幾つかで薬物が合法化されている理由などについて、クイズ形式などを用いてわかりやすく説明していただきました。また、学生が関わった最近の事例や、長崎県での事例などもご紹介していただきました。



## 12月の行事予定

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 2日(木) 期末考査(～12/7) | 18日(土) ①県一斉実力        |
| 4日(土) ③土曜学習会      | ③土曜学習会               |
| 9日(木) 人権教育        | 19日(日) ②県一斉実力        |
| 11日(土) ①②土曜学習会    | 上五島地区弁論大会            |
| ③共通テストプレ          | 24日(金) 2学期終業式        |
| (～12/12)          | 25日(土) ①②土曜学習会       |
| 13日(月) ②修学旅行      | ③共通テストプレ             |
| (～12/17)          | (～12/26)             |
| 面談週間(～12/23)      | 27日(月) ③冬季補習(～12/28) |
| 16日(木) ①消費者教育     |                      |



←上五島高校の最新情報はここから。または下のホームページアドレスまで。  
ホームページを随時更新中です!!

<http://www2.news.ed.jp/section/kamigoto-h/index.html>